第３種郵便物認可　北海道新聞　2014年（平成26年）1月3日（金曜日）　特集　10

北方領土をめぐる主な出来事（肩書は当時）

今年後半？　プーチン大統領が来日

6月　ソチでG8サミット。日口首脳会談？

4月　岸田文雄外相が訪口

2014年2月　ロシア・ソチの冬季五輪の際に安倍首相が訪口し、プーチン大統領との会談を検討

テロや海賊対策の共同訓練など安全保障分野の連携強化を確認

11月　初の外務・防衛閣僚級協議（2プラス2）を東京で開催

プーチン大統領が記者会見で、平和条約締結について「そこに到達するには敵のイメージではなく、友人のイメージを作らなければならない。日本とはこれが十分可能だと考える」と言及

10月　インドネシア・バリで首脳会談

ロシア・サンクトペテルブルクで首脳会談

9月　外務次官級で領土交渉を再開

8月　英国・北アイルランドで首脳会談

6月　**平和条約締結に向けて、両首脳の議論に付すため「双方受け入れ可能な解決策」策定を両国外務省に指示することなどで合意**

安倍首相が日本の首相として10年ぶりに公式訪口。プーチン大統領と会談し、共同声明を発表

4月　森元首相が訪口。プーチン大統領と会談

13年2月　安倍晋三氏が5年ぶりに首相に復帰

12月　メドベージェフ首相が2回目の北方領土（国後島）訪問

7月　メキシコで野田佳彦首相とプーチン大統領が会談。北方領土問題の「実質的な交渉」再開で合意

6月　プーチン氏が4年ぶりに大統領に復帰

5月　プーチン首相が外国メディアとの懇談で、北方領土問題を「引き分け」で解決する方針を示唆

12年3月　メドベージェフ大統領が旧ソ連、ロシアを通じて国家元首で初めて北方領土（国後島）を訪問

4月　北方領土を「わが国固有の領土」と明記した改正北方領土問題等解決促進特別措置法（北特法）が成立。ロシア側は猛反発

10年11月　**領土問題を「新たな、独創的で型にはまらないアプローチ」で解決を目指すことで一致。その後、首相が国会で北方領土の「不法占拠」が続いていると発言し、ロシアが反発**

麻生太郎首相がサハリンを訪問し、メドベージェフ大統領と首脳会談

09年2月　洞爺湖G8サミット。福田康夫首相とメドベージェフ大統領が北海道で初の日口首脳会談

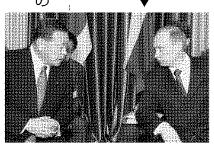
08年7月　プーチン大統領が公式来日し、小泉首相と首脳会談。領土問題を含む共同文書は作成できず

05年11月　プーチン大統領が北方領土問題について歯舞、色丹の2島引き渡しでの決着方針を表明

11月　小泉首相が歴代首相で初めて北方領土を海上視察

04年9月　小泉純一郎首相が公式訪口。プーチン大統領と経済、防衛など幅広い分野で日口関係の発展をうたった「**日口行動計画**」を発表

03年1月　**日本への2島引き渡しを明記した日ソ共同宣言の法的有効性を確認。森首相は歯舞、色丹の返還条件と国後、択捉の帰属問題を協議する場を別々に設ける「並行協議」を提案**



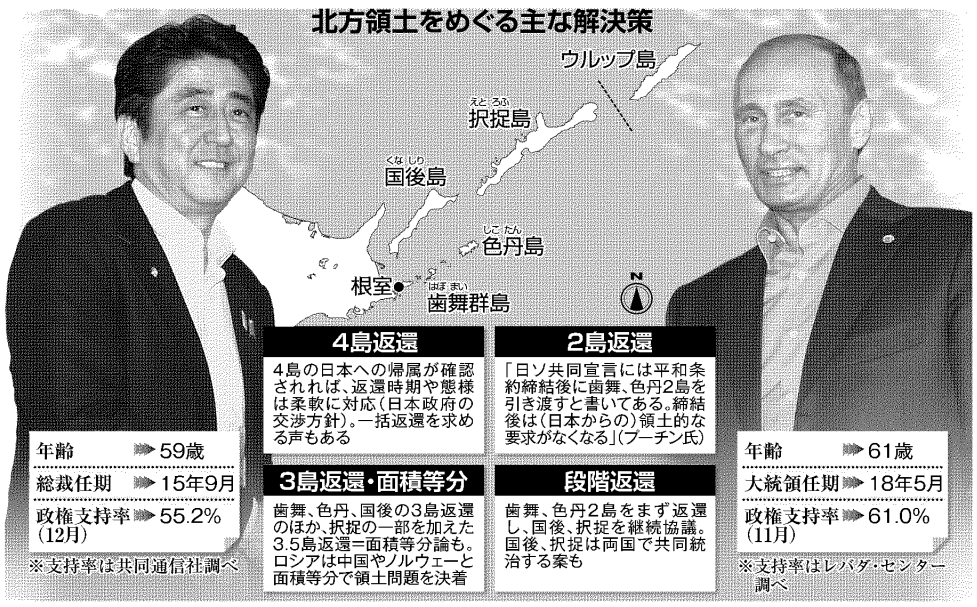
2001年3月　森喜朗首相が訪口。プーチン大統領との首脳会談で「**イルクーツク声明**」署名

11月　小渕恵三首相が日本の首相として25年ぶりに公式訪口。ロシア側が川奈提案を拒否

10月　北方四島周辺海域で主権問題を棚上げして日本漁船の操業を認める安全操業がスタート

動くか 領土交渉

関係改善 親子二代で 安倍氏



東方志向 公式に宣言 プーチン氏

「東京五輪が決まりましたね。ご成功を祝福したい。あなたがどれだけ努力したか、良く存じ上げています」

ロシアのプーチン大統領は昨年10月、インドネシアでの安倍晋三首相との会談で「親日家」の顔を演出した。

ロシアで2月に開かれるソチ五輪期間中に、両首脳がソチで昨年来5度目の会談を行う案もある。黒帯の柔道を通じ、日本に親近感を持っているとされるプーチン氏。五輪という共通項を生かした日本への接近は、アジア太平洋進出の足がかりという意味も持つ。

「ロシアの太平洋地域への回帰は、経済の発展とともに、外交手段ともなるものだ」。昨年12月12日の年次教書演説では、東方志向を公式に宣言した。

プーチン氏の高い支持率は、天然ガス輸出による経済成長に支えられてきた。しかし、最大の得意先・欧州の需要は頭打ちとなり、ロシアの成長も急減速。東方志向の背景には、こうした台所事情がある。

ただ、頼みの中国は成長に陰りが見え、ガス価格交渉は難航している。プーチン氏が「互いの潜在力を生かし切っていない」とする日本に着目するのは当然ともいえる。

プーチン氏の支持率のもう一つの源泉は「国家主義者」の顔だ。

「ロシア憲法は国が領土の統一を保証すると明確に定めている。領土を譲るような発言はすべて憲法違反だ」

昨年12月、モスクワでの学生らとの懇談ではこう述べ、強硬姿勢をのぞかせた。

ロシア側は、北方四島が第2次大戦の結果、正当にロシア領となったとの主張を変えていない。その立場を変更できるのはプーチン氏だけと言われる。親日家の顔と、国家主義者の顔。今年の交渉では、どちらの顔を見せるのか。

「今はまだ、こちらから提案しない方がいいですね」。昨年7月、参院選での自民党圧勝から数日後。安倍晋三首相は北方領土問題解決に向け、ロシア側の出方を慎重に見極める考えを旧知の関係者に伝えた。

一昨年末に首相に返り咲いて以来、プーチン大統領とは4回、計240分間の会談を重ねた。各国首脳との会談では最も多い。

「満開の桜のように日ロ関係を発展させたい」と語ったのは昨年4月、今がチャンスとの見方もある。両氏が昨年4月から4回も会談を重ねているというのも、異例のハイペースだ。

Q　それで、交渉が動きだすのではと期待する声があるんだね。

A　プーチン氏が今年後半に来日する予定もあるしね。4島か2島か、2島プラスアルファか、などと解決案が取り沙汰されているが、安易な妥協に走れば、それぞれの国内世論が黙っていないはずだ。信頼関係を築きつつある両氏の指導力が、交渉の行方を左右するだろう。米国や中国の動向など国際情勢も絡んでくるだろうね。

巨大与党強み いかに決断

昨年12月、北方領土問題に関し、官邸を訪れた長谷川俊輔根室市長らに「一日も早く解決を図りたい」と述べた。森喜朗元首相や鈴木宗男元衆院議員（現新党大地代表）らが推進した歯舞、色丹2島の先行返還を目指す並行協議を過去に支持するなど、北方領土問題に関しては「柔軟路線」とされる首相だが、まだ手の内を明らかにしていない。

内外の課題が山積する中、巨大与党という政権基盤と、当面は大型の国政選挙がないとされる政治状況を、「百点満点の決着は困難」（政府筋）とも言われる領土問題の追い風にできるか。勝負どころを見定める正念場の年が明けた。

親日と国家主義 二つの顔

終戦後にソ連占領、日本返還要求

Q　今年で第2次大戦終結69年。北方領土問題は未解決だね。

A　歯舞、色丹、国後、択捉の北方四島には戦前、約1万7千人の日本人が暮らしていたけれど、大戦末期に旧ソ連が日ソ中立条約を破棄して参戦、終戦後になって四島を占領した。日本政府は返還を求めているが、ロシアが応じないんだ。

Q　返還を求める根拠はほかにもあるの。

A　日本と帝政ロシアとの国境を初めて画定した1855年（安政2年）の日露通好条約以降、四島は一貫して日本の領土だった。旧ソ連も参加した戦前の大西洋憲章やカイロ宣言は、大戦による「領土不拡大の原則」をうたっており、四島占領はこれにも反する。

Q　でも、千島列島は放棄したよね。

A　1951年署名のサンフランシスコ講和条約で、日本は千島列島を放棄した。当時、外務省の西村熊雄条約局長が千島列島に南千島（国後、択捉）が含まれるとの認識を国会で示したこともある。しかし、国後、択捉は一度も他国の領土になったことがなく、北海道の一部としての歯舞、色丹2島と共に「固有の領土」だとして返還を求めるようになったんだ。

Q　56年の日ソ共同宣言には平和条約締結後に歯舞、色丹を日本に引き渡すとあるだけで、国後、択捉には触れていないよ。

A　日本には当時、2島で決着させる動きもあった。交渉が進むにつれて四島返還に傾いたのは、東西冷戦下で日ソ接近を警戒した米国の強い圧力があったとされているね。

Q　ロシアはどう主張しているの。

A　大戦の結果として、四島は正当にロシア領になったとしている。領土を奪ったり奪われたりしてきた歴史があるから、「固有の領土」という考えはなかなか理解し難いようだ。ロシアでは世論の反発が強いよ。

Q　解決に向けた提案もあったよね。

A　日本は90年代に「四島一括返還」から「四島の帰属確認」を最優先する方針に転換した。四島を日本のものとロシアが認めるなら、返還の時期や手法は柔軟に対応するとの考え方だ。98年に当時の橋本龍太郎首相が行った川奈提案は、これに沿ったものだ。

Q　提案は実らなかったんだ。

A　最終的に四島返還につながるとしてロシア対論が強かった。2001年には森喜朗首相が歯舞、色丹の返還手続きと択捉、国後の帰属問題を同時に協議する「並行協議」を提案したが、2島返還で終わりかねないと日本で反発が高まり、進展しなかった。

Q　溝は深いなあ。

A　安倍晋三首相とプーチン大統領は「双方受け入れ可能な解決策」を目指すことで合意している。言葉は以前から使われているけれど、両国の政権が比較的安定している上、ロシアはアジアを重視しており、今がチャンスかもしれないね。

北方領土交渉ってなに？

東京報道・渡辺玲男、モスクワ・西田浩雅、ユジノサハリンスク・相内亮、根室支局・笠原悠里が担当しました

(C) 北海道新聞社　無断転載、複製および頒布は禁止します。
渡辺　玲男　2014/01/08 21:56:37